

周防大島町の話題



▲主張発表大会の様子（主張を行う木谷友哉さん）

中学校生徒の主張発表大会

11月5日、第71回目となる大島郡中学校生徒の主張発表大会が橘総合センターにて開催されました。

これは、「社会を明るくする運動」の一環として大島地区保護司会などが主催し開催されたもので、6人の中学生が発表を行いました。

出場した中学生は、東京オリンピック、情報社会で感じることや、自分の体験から感じたことや考えなどを主張。審査の結果、大島中学校3年の木谷友哉さんが最優秀に選ばれました。

女性防火クラブ結成

町内で活動している大島バディ（バレーボールクラブ）のメンバー10人が「周防大島町女性防火クラブ」を結成し、11月9日、役場大島庁舎にて結成式が行われ、クラブ旗や法被、キャップが贈られました。

これから火災予防に必要な知識や技術を習得するための活動や、イベントや戸別訪問による防火防災の啓発活動などを行っていきます。

周防大島町女性防火クラブ代表の岡崎江美さんは「チームのみんなで協力しあい、消防署の方々、町職員の方々、消防団の方々にいろいろご指導していただいで頑張っていきたい」と思いを話しました。



▲結成式に参加した周防大島町女性防火クラブの皆さんと藤本町長、柳井地区広域消防組合消防本部の西岡則之消防長



▲塩づくり体験の様子

体験型教育旅行再開

周防大島町の海と山の自然の中で農村漁村の暮らしを体感する「体験型教育旅行（選択別体験プログラムのみ）」の受入れが再開されました。実施にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを設け、実施条件を満たしている場合にのみ行われます。

11月12日には、季節に応じて周防大島町ならではの体験ができる「選択別体験プログラム」で県内の南陽工業高校が、地引網漁、カヌー、塩づくりなどを体験しました。